

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	環日本海諸国語Ⅲ(ロシア語)	
科目基礎情報							
科目番号	0048		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	"ПОЕХАЛИ!" 1-1, 1-2						
担当教員	山本 有希						
到達目標							
(1)名詞等の格変化を習得する (2)動詞の完了体と不完了体の用法を習得する (3)単位認定には60点以上が必要である							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1		名詞格変化、運動の動詞及び動詞の体について、8割以上理解できる。		名詞格変化、運動の動詞及び動詞の体について、6割以上理解できる。		名詞格変化、運動の動詞及び動詞の体における理解度が6割に達しない。	
評価項目2		上記文法事項を活用した作文及び文章読解がスムーズにできる。		上記文法事項を活用した作文及び文章読解ができる。		上記文法事項を活用した作文及び文章読解が満足にできない。	
評価項目3		実施される単語テストにおいて正答率が8割を超える。		実施される単語テストにおいて正答率が6割を超える。		実施される単語テストにおいて正答率が6割に達しない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要		1年時に学習した事項を確認しながら、引き続きロシア語学習を進める。					
授業の進め方・方法		教員単独による講義および演習					
注意点		<授業改善策> ・学生の理解度を質問等で確認しながら講義を行うよう努める。 ・評価が60点に満たない者は願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。 <備考> 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画や評価項目及び評価割合は変更することがある					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス他			1)シラバスの説明 2)既習事項の復習	
		2週	第24課 動詞「食べる、飲む」 第25課 形容詞の対格			動詞、形容詞の対格の用法を理解する	
		3週	第26課 動詞「着用する」			動詞、形容詞の対格の用法を理解する	
		4週	第27課 -овать動詞 第28課 形容詞の前置格			形容詞の前置格形の用法を理解する	
		5週	第29課 運動の動詞①			運動の動詞の用法を理解する	
		6週	第29課 運動の動詞②			運動の動詞の用法を理解する	
		7週	第30課 運動の動詞③			運動の動詞の用法を理解する	
		8週	第31課 -ся動詞の用法			-ся動詞の用法を理解する	
	2ndQ	9週	第32課～34課 生格の用法			生格の用法を理解する①	
		10週	中間試験			既習事項の確認を行う	
		11週	試験返却および解説			試験問題の解説及び点数の確認を行う	
		12週	第32課～34課 生格の用法			生格の用法を理解する②	
		13週	第35課～36課 運動の動詞④			運動の動詞の用法を理解する	
		14週	第35課～36課 運動の動詞⑤			運動の動詞の用法を理解する	
		15週	期末試験			既習事項の確認を行う	
		16週	成績確認			成績評価の確認を行う	
後期	3rdQ	1週	第38課 形容詞の生格			形容詞の生格の用法を理解する	
		2週	第39課 対格及び関係代名詞			活動体の対格及び関係代名詞の用法を理解する	
		3週	第41課～第43課 動詞の体			動詞の体の用法を理解する	
		4週	第41課～第43課 動詞の体			動詞の体の用法を理解する	
		5週	第41課～第43課 動詞の体			動詞の体の用法を理解する	
		6週	第44課 名詞の与格			与格の用法を理解する	
		7週	第45課～46課 無人称文			無人称文の用法を理解する	
		8週	中間試験			既習事項の確認を行う	
	4thQ	9週	試験返却および解説			試験問題の解説及び点数の確認を行う	
		10週	第47課 運動の動詞と与格			与格の用法を理解する	
		11週	第50課 名詞の造格			造格の用法を理解する	
		12週	第51課 形容詞の造格			造格の用法を理解する	
		13週	第52課 運動の動詞⑥			運動の動詞の用法を理解する	
		14週	第53課 運動の動詞⑦			運動の動詞の用法を理解する	

		15週	期末試験	既習事項の確認を行う				
		16週	成績確認	成績評価の確認を行う				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100	
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	